

No.47 諸産業の発達と都市の繁栄	年 組
	氏名

/10問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 幕府や藩が、年貢の収入を増やすために、用水路を造ったり、海や沼地を干拓したりして (①) を開発した結果、農地の面積は、18世紀の初めには、豊臣秀吉のころの約2倍に増えた。

2 江戸幕府は、銅貨として右の図で示される (②) を各地の銭座で大量に造らせ、全国に流通させた。



3 江戸幕府が整備した五つの主要な道路を (③) という。

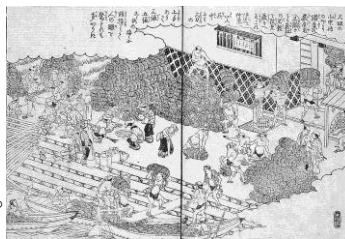
4 17世紀の中ごろから、木綿や油などを運ぶ (④) と、酒を運ぶ (⑤) が、大阪と江戸の間を定期的に往復した。

5 東北や北陸地方の年貢米を江戸や大阪に運送するために、西廻り航路と (⑥) が開かれた。

6 17世紀後半には、江戸、大阪、京都の三つの都市が大きく発展し、合わせて (⑦) と呼ばれた。

7 全国の商業や金融の中心地である大阪は「(⑧)」と呼ばれた。

8 大阪に北陸や西日本の諸藩が設置し、米や特産物を販売した右の図で示される建物を (⑨) という。



9 問屋や仲買などの大商人がつくった同業者組織で、幕府の許可を得て営業を独占した組織を (⑩) という。

【解答】

- ① 新田
- ② 寛永通宝
- ③ 五街道
- ④ 菱垣廻船
- ⑤ 樽廻船
- ⑥ 東廻り航路
- ⑦ 三都
- ⑧ 天下の台所
- ⑨ 蔵屋敷
- ⑩ 株仲間

江戸時代にはそれぞれの産業がどのように発達したのかをまとめよう。

